

平成 27 年羽曳野市議会第 1 回定例会

発 言 通 告 書

(施政方針に対する代表質疑)

【平成 27 年 2 月 28 日(土) 予定】

1. 吉 田 恭 輔 議員 (市民クラブ)

- (1) 今年は戦後 70 年の節目の年、忘れかけられている戦争の記憶と平和の尊さ、平和の大切さについて
- (2) 人口減少と急速な高齢化による高齢者の暮らしについて
- (3) 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録と観光による賑わいの創出について
- (4) 市政運営について
 - ① 市の発展、成長の推進力について
 - ② 女性職員の育成について
 - ③ 市の負債について

2. 笠 原 由美子 議員 (公明党)

- (1) 平成 27 年度の重点施策「教育」「観光」の 2 つの柱から「教育」「観光」について
 - ① 市における人口減少と急速な高齢化における喫緊の課題に対する対策について
 - ② 「希望に満ちた今と未来のまちの姿を描く」ために安心して子どもを産み育てる環境を整えるについて、妊娠期・出産期・乳幼児期・小児期における支援についての考えはどうか。
 - ③ ICT を活用した教育環境の整備について
 - ④ 「羽曳野らしさ」を戦略的に市内外に PR する地域ブランド化の取り組みについて
 - ⑤ 古市駅東広場における観光案内所機能の充実、観光ガイドマップの作成と駒ヶ谷駅とのリンクをどう考えるか。

(2) 平成 27 年度に取り組む新たな施策、5 つの「まちづくりの目標」について

- ① 「安心・安全、快適で住みやすいまち」づくりの推進から
 - ア 災害時における他の行政、企業との連携について
 - イ 災害時における緊急給水栓の設置について
 - ウ 老朽木造住宅の耐震化率向上のために耐震にかかる診断・設計・改修への助成に加えて「住宅の除去費用」の助成とはどのようなものか。また「空き家対策」との関係はどうか。
 - エ LED 防犯灯設置における補助金制度について
- ② 「健康で生き生きと暮らせるやさしいまち」づくりの推進から
 - ア 「(仮称) L I C ウェルネス・ゾーン」の整備とは具体的にどのようなものか。
 - イ 地域包括ケアシステムの構築についての新年度の取り組みはどうか。
 - ウ 「認知症カフェ」の開設とはどのようなものか。また認知症予防に対する取り組みは考えているか。
- ③ 「次代を担う子どもを育むまち」づくりの推進から
 - ア 留守家庭児童会の拡充について
 - イ 放課後子ども教室の全校実施について
 - ウ 親学習推進事業の実施とはどのようなものか。
- ④ 「魅力ある地域社会を拓く活力あるまち」づくりの推進から
 - ア 市役所における人材育成や女性の管理職登用について
 - イ 「つぶたん」のふるさと駒ヶ谷駅西側公園の魅力向上と東側の魅力向上はどうか。
- ⑤ 「信頼に基づく市民とともにつくるまち」づくりの推進から
 - ア マイナンバー制度の円滑な実施に向けた取り組みについて
 - イ 大阪府からの 5 つの権限移譲の内容についてと住民の利便性の向上は、

3. 林 義 和 議員 (羽曳野無所属の会)

(1) 市長の政治姿勢について

① 地方創生について、具体的に何か考えがあるのか。

(2) 教育・子育て施策について

① 「認定こども園」ではなく「こども園」とあるが、具体的にどのようなものなのか。

② 減少する幼稚園児について、14園の今後の考えは。

③ 保育園の公私間格差と民間保育園の充実の考えは。

④ 小中学校給食の完全民営化について

⑤ 戦後70年、正しい歴史教育をもっとすべきではないか。

(3) 観光について

① 観光とは何か。市長の思いは。

② 軽トラ市の開催場所について

③ ふるさと納税について

(4) 防災、防犯計画について

① 太陽光発電設備、蓄電池の設置場所が片寄りすぎていないか。

② 生活用品の備蓄について

③ 防犯カメラの設置計画は。

(5) 下水道について

① 未整備箇所を今度どうしていくのか。

4. 若 林 信 一 議員 (日本共産党)

(1) 本市を取り巻く社会経済情勢について

① 国の政治に対する市の考えと対応について

② 大阪府政に対する市の考えと対応について

③ 維新の政治と「都構想」に対する市の考えと対応について

(2) 市政運営の基本方針について

① 羽曳野市本来の役割について

(3) 住民の生活実態について

① 住民の生活実態をどう把握しているのか。

(4) 施政方針の重点施策について

① 「こども園」の開設について

② 世界文化遺産登録に向けた環境整備について

(5) 平成27年度に取り組む新たな施策について

(6) 財政運営について

(7) 政治姿勢について

5. 松 村 尚 子 議員 (自由民主党議員団)

(1) 計画行政関連の各計画の策定について

① 最終年度を迎える第5次総合基本計画の進捗度合いと課題について

② 第6次総合基本計画と都市計画マスタープランの策定について

③ 公共施設等総合管理計画の策定について

(2) ふるさと納税について

① ふるさと納税制度の活用と羽曳野市のPRについて

(3) 「こども園」について

① 「こども園」の設置と内容について

(4) 地方創生について

① 「地域消費喚起・生活支援型」のプレミアム付商品券事業に向けての手法

② 「地方創生先行型」に対する事業内容について

③ 「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」について

(5) 世界文化遺産登録に向けての取り組みについて

① 面としての環境整備について

(6) 空き家対策について

① 「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行を受けての市としての対応について

(7) 教育について

① 教育環境の整備と教育予算について

(8) 防災対策について

① 地域防災計画の策定について

② 2施設への太陽光発電設備・蓄電池設置と備蓄物資との考え方について

(5) 魅力ある地域社会を拓く活力あるまちづくりについて

① プロスポーツクラブチームを活かした地域づくりについて

(6) 高齢者支援について

① 「きらきらシニアプロジェクト」について

(7) 信頼される市政運営について

① 指導監査室の役割、権限、人材は

6. 田 仲 基 一 議員 (大阪維新の会)

(1) 基本方針について

① 政府の地方創生先行型交付金を活用した長期ビジョンについて

② 人口減少対策について「個性、特性をあらためて認識し戦略をもって取り組む」とあるが具体的に。

(2) 教育改革について

① 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、関係条例が改正されることについて

(3) 子育て支援施策について

① 平成27年度より大阪府の子ども医療費助成枠が拡大される予定と聞くが、府下市町村の新年度助成枠の現状は。

(4) 羽曳野観光の魅力について

① 観光産業を当市の基軸産業とする考えはあるか。